

報道関係者各位

2022年9月9日

■本件に対するお問合せ
・株式会社アクトプロ 経営企画本部 広報部
(TEL:03-3569-0280 FAX:03-3569-0281)
・担当:上田 Mobile:090-3043-6063
Email:ueda.nok@actpro.co.jp

与那国島に観光アクティビティ創出へ 島を訪れ魅力に触れるクラウドファンディングをスタート

株式会社アクトプロは9月9日、日本最西端の島・与那国島（沖縄県与那国町）で洞窟探検（ケイビング）や謎解きツアーなどのアクティビティを創出し、島を活性化させるためのクラウドファンディングを「Makuake」上で開始します。（https://www.makuake.com/project/actpro_shimapj）

■2022年、島プロジェクトを開始

アクトプロでは2022年、離島の魅力に光を当て持続的な発展に貢献する「島プロジェクト」を開始しました。

国内には300を超える有人離島が点在しています。離島は生活区域というだけではなく、多様な文化があり、漁業や海洋調査、国防などで重要な意味を持ちます。

一方で、離島では

- ・離島に定住したくても働く場所がなく、流入が増えず、流出が加速する
- ・離島に移住したくても、住居や土地を探せない
- ・島のポテンシャルを活かしきれず、旅行先の選択肢にならない

などの要因で人口減少が進んでいます。

島プロジェクトでは離島に「働く・住む・遊ぶ」の3つを創出し、定住人口、交流人口の増加や経済活性化への貢献を目指しています。

■与那国島での取り組み

今年4月には遊休不動産となっていた観光ホテルを活用して与那国町内にコールセンターを開設しています。11月には与那国空港前に商業施設（736坪、2434平米）をオープンし、島内で洞窟探検や謎解きツアーなどの観光事業をスタートします。

■「与那国もりあげ隊」を募集

今回のプロジェクトでは、「与那国もりあげ隊」の一員として、島の様々な魅力に触れ、実際に体験し、発信してくれる方々を募集しています。与那国島で実施する各アクティビティの参加パスなどを支援のリターンとし、島を訪れ現地の魅力に触れるきっかけにつなげたいと考えています。また、島の泡盛「与那国」「どなん」のほか、かじきマグロのジャーキーや島とうがらしパウダーなど特産品をリターンとして島の魅力をご自宅で楽しめるプランも用意しています。

プロジェクトはアタラシイものや体験の応援購入サービス「Makuake」で公開し11月29日まで。



報道関係者各位

2022年9月9日

■本件に対するお問合せ

- ・株式会社アクトプロ 経営企画本部 広報部
(TEL:03-3569-0280 FAX:03-3569-0281)
- ・担当:上田 Mobile:090-3043-6063
Email:ueda.nok@actpro.co.jp

■支援プラン・リターンは3種類

実際に与那国を訪れて、アクティビティを体験し、盛り上げてくれる方は「冒険隊」
与那国には行けないが、リモートで盛り上げてくれる方は「応援隊」
法人の力でパワフルに与那国を盛り上げてくれる方々は「法人隊」
からお選びいただけます。

詳細はMakuakeページ (https://www.makuake.com/project/actpro_shimapj) をご覧ください。

■アクティビティ①与那国島の魅力を活かした謎解きリアルRPG

与那国冒険記と題して、ストーリーに沿って島を探索しながら謎解きをします。与那国島で消息を絶った探検家の残したヒントを追って、3人の弟子になりきって楽しむ体験型RPGとなっています。
謎解きリアルRPGは、株式会社IKUSA様にご協力いただき制作しています。

■アクティビティ②絶海の孤島での非日常体験を提供するケイビング（洞窟探検）

大きな川がないため、雨が地中に入り、無数の洞窟を形成している与那国島の地形を活用した洞窟探検で、神秘的な景観や非日常的な雰囲気、冒険感などを味わうことができます。
八重山ケイビングガイド協会の中川隆行会長に監修いただいている。

■アクティビティ③大自然の神秘と幻想的なライトアップによる洞窟イルミネーション

洞窟の中という大自然の中の特別な空間と幻想的な演出により、ここでしか味わえない癒しを提供します。

ハウステンボスをパーク運営責任者として18年連続赤字からV字回復に導いた早坂俊氏にご協力いただいています。

■協力

イグニション・ポイント株式会社

新規事業創出やDX支援を強みに企業の変革を支援するイノベーションファーム。島プロジェクトの計画立案、リサーチ等の多方面に渡るコンサルティングを担当。クラウドファンディングでも計画立案、実行のメインパートナーとして参画いただいている。



なぜ、アクトプロが島プロジェクトを行うのか

既存事業のノウハウの組み合わせにより、アクトプロにしかできない離島の「働く・住む・遊ぶ」を形にします

